

令和5年度当初予算案の概要

福岡市財政局



目次

I 政策の推進	・・・ 1
1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち	
2 魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち	
3 主要事業	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・・・ 8
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整基金の活用と残高の確保	
4 市債残高の状況	
III 予算案の姿（概要）	・・・ 15

I 政策の推進

予算のコンセプト

- 都市の成長の果実を活用し、
次代を担う子どもを安心して生み育てられる環境づくりを強力に押し進める。
- 国内外から選ばれるまちにアップデートし、
福岡のステージをさらに高めるための施策を押し進める。

1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

⇒ 第2子以降の保育料無償化、子育て世帯住替え助成、おむつと安心定期便、子ども医療費助成、産前・産後ヘルパー派遣、産後ケア、障がい福祉サービスの利用者負担大幅軽減、学習指導員派遣、部活動支援、「福岡100」の推進、認知症フレンドリーシティの拠点開設、インクルーシブな子ども広場整備、ICT活用による障がい者就労等支援、野良猫等の不妊去勢手術支援

2 魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

⇒ 世界水泳選手権福岡大会の開催、リバーフロントNEXTの推進、海辺を活かした観光振興、都心部のエリアプロモーション、外資系金融機関等の誘致推進、急成長を目指すスタートアップの成長支援、都心の森1万本プロジェクト、油山牧場・市民の森リニューアル、FUKUOKA Smart EAST、Fukuoka Art Next、水素リーダー都市プロジェクト、建築物のZEB・ZEH-M化支援

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

子育て支援の拡充

総額 約**40**億円 【R6年度以降 **50**億円規模】

※金額は新規・拡充部分のみ。【】表記はR6年度以降の必要額。 ★：新規 ☆：拡充

多子世帯へ	サポートを必要とする子どもへ	全ての子育て家庭へ
<p>★第2子以降の保育料</p> <p>政令市初 <u>23.4億円</u></p> <p>無償化 幼稚園での0-2歳保育も対象</p>	<p>☆障がい福祉サービス利用料</p> <p><u>1.2億円【3.4億円】</u></p> <p><未就学児> 無償化</p>	<p>★おむつと安心定期便</p> <p>政令市初 <u>11.7億円</u></p> <p>定期的な見守りとともに おむつ等を届ける <small>こども未来基金を活用</small></p>
<p>☆産後ヘルパー</p> <p><u>0.1億円</u></p> <p>第2子以降 利用回数倍増 20回→40回</p>	<p><学齢期> 負担上限 月3,000円へ</p>	<p>☆子ども医療費 ～ふくおか安心ワンコイン～</p> <p><u>1.4億円【8.4億円】</u></p> <p>対象拡大 高校生（18歳）まで</p>
<p>☆子育て世帯の住替え助成</p> <p><u>0.9億円</u></p> <p>子2人以上で最大25万円へ</p>	<p>☆子ども食堂への助成</p> <p><u>0.1億円</u></p> <p>活動年数によらず補助率 2/3 助成額上限1.5倍</p>	<p>☆産前・産後ヘルパー 産後ケア（訪問型）</p> <p><u>1.0億円</u></p> <p>利用者負担500円/回へ ヘルパー派遣妊婦も対象</p>

安心して生み育てられる環境づくり

多子世帯(子2人以上)の負担を大幅に軽減すると同時に、
全ての子育て家庭への支援を拡充。

多子世帯への支援

★第2子以降の保育料を要件なく無償化

保育所(認可外含む)・幼稚園の保育料について 23億3,516万円 (こども)
所得制限や同時入所要件を廃止

☆第2子以降の産後ヘルパーの利用回数を倍増

きょうだいが未就学児の場合、 603万円 (こども)
利用上限回数を20回から40回に拡大

☆子育て世帯住替え助成を拡充

所得要件の廃止、子2人以上で助成額を最大25万円へ 1億3,615万円 (住都)

全ての子育て家庭への支援

★おむつと安心定期便の開始

0～2歳の子育て家庭を定期的に見守りながら 11億7,119万円 (こども)
おむつ等をお届け

☆子ども医療費の助成対象を高校生(18歳)まで拡大

通院は1医療機関500円/月、入院は無料 61億1,677万円 (保医)
(R6年1月から)

☆産前・産後ヘルパー、産後ケアの利用料を大幅軽減

ヘルパー派遣の対象に妊婦を追加 1億4,588万円 (こども)
利用料軽減(ヘルパー、訪問型ケア500円/回 等)

☆学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援

12億1,240万円 (こども・教委)

サポートを必要とする子どもたちのために

サポートを必要とする子どもたちへの支援を大幅に拡充。

障がいのある子どもの支援

☆障がい福祉サービス利用料を大幅軽減

所得制限を廃止し、未就学児は無償化 1億2,435万円 (こども・福祉)
学齢期は負担上限3,000円/月(R6年1月から)

★医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援

医療的ケアが必要な特別支援学校児童生徒への 1,090万円 (教委)
通学支援を試行的に実施

☆子ども食堂に対する助成の拡充

活動年数によらず補助率2/3、 1,771万円 (こども)
助成額上限を10～40万円から15～60万円へ

・小学5年生～中学3年生の習い事を応援

生活保護又は児童扶養手当受給世帯を対象として 4億2,839万円 (こども)
子ども一人当たり月額上限1万円の助成

★親子の愛着形成を促す宿泊・通所プログラム

乳児院において親子宿泊型支援や通所プログラム実施 663万円 (こども)

★親子ショートステイによる子育てサポート

里親家庭や児童養護施設での 1,092万円 (こども)
親子宿泊による育児サポートを実施

★不登校児童生徒等へのオンラインによる支援

不登校児童生徒等に対するオンラインルームの開設や 252万円 (教委)
スクールカウンセラー等へのタブレット配備

教育環境の充実

確かな学力の定着に向けた教育環境の充実を推進。

★学習指導員を配置し1人ひとりに寄り添った学習を推進

学習指導員を新たに配置(221人) 7,753万円 (教委)

☆中学、高等学校に部活動指導員等を大幅増員

部活動指導員A (110人→222人) 1億8,775万円 (教委)
部活動支援員 (290人→348人)

何歳でもチャレンジできるまち

全世代の健康づくり、介護予防を推進。

福岡100

☆人生100年時代に向けた「福岡100」を推進

先導事業(食を通じた多世代交流)の実施とともに、
企業等の新たな発想・手法を取り入れたプロジェクトを推進 4,076万円 (福祉)

☆介護人材確保の取組みを推進

介護業界のWell-being向上の取組みや
介護ロボット導入促進等を実施 3,536万円 (福祉)

☆まち中で自然と体を動かす「Fitness Cityプロジェクト」

自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けを展開 6,393万円 (保医・住都・道下)

・女性の健康問題に着目した運動習慣の定着

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)予防の
きっかけづくり 780万円 (保医)

☆予防に重点をおいて全世代の歯と口腔の健康を守る

産学官連携により
「オーラルケア28(にいほち)プロジェクト」を推進 3,549万円 (保医)

誰もが安心して暮らしやすいまち

障がいの有無や年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らしやすいまちづくりを推進。

インクルーシブな環境づくり

★認知症フレンドリーシティの拠点開設

市の取組みを集約し、最新の知見・技術等を提供
するとともに、国内外に情報発信 7,927万円 (福祉)

★誰もが自分らしく遊べるインクルーシブな子ども広場整備

R7年度までに各区1か所整備に向け、
R5年度は百道中央公園に整備 1億5,750万円 (住都)

☆重度障がい者等がICTを活用し自宅で就労できる取組み

遠隔操作するロボットを活用した就労の支援 1,945万円 (福祉)

☆重度障がい者等就労支援の制度の拡充

支援対象に自営業者を追加、
通勤や職場における支援を拡充 1,079万円 (福祉)

・障がい者の工賃向上を支援

企業への業務開拓や障がい者施設への
受注支援を行うセンターを通じた支援 4,973万円 (福祉)

☆民生委員をサポートする支援員を全市展開

相談対応や同行訪問を実施 5,288万円 (福祉)

★防災をきっかけとした地域活動メニューを提供

自治会等に講師を派遣するなど、
防災をきっかけとして地域活動の再開・活性化を支援 243万円 (市民)

★野良猫・多頭飼育の猫の不妊去勢手術支援

殺処分ゼロを目指し、手術支援を試行的に実施 870万円 (保医)

観光・MICEで賑わい、潤うまち

世界水泳選手権福岡大会や、地理的・歴史的な資源を活かした観光・MICEを推進。

世界水泳選手権福岡大会

☆世界水泳選手権福岡大会・
世界マスターズ水泳選手権九州大会の開催 86億1,291万円 (市民)



★都心の水辺の憩いと回遊拠点づくり
春吉橋迂回路橋上広場、清流公園の整備に向けた取り組みや、光と水のイベントを実施 7,190万円 (住都・経観文)



☆博多旧市街フェスティバルの拡充やブランディング実施
観光客等の認知度・回遊性向上への取り組み 8,941万円 (経観文)



☆海辺を活かした観光振興
北崎エリアの立ち寄りスポットづくり
志賀島エリアの道づくり 4億5,152万円 (経観文・道下)



★商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携を支援
2,204万円 (経観文)

多様な人材や企業が集まるまち

天神ビッグバンをはじめ都心部の魅力の発信や、外資・国際金融の誘致など多様な人材・企業が集まるまちづくりを推進。

★天神ビッグバンなど都心部のエリアプロモーション
都心部の魅力を伝える動画等を作成し、HP、SNS、セミナー等で発信 500万円 (住都)



☆外資系金融機関等を誘致するためのプロモーション
ウェビナーを活用したプロモーション、PRイベント等 3,466万円 (経観文)

世界と繋がるスタートアップのまち fgn.

★急成長を目指すスタートアップを起業前から集中支援
急成長スタートアップを輩出するため
事業創出・拡大や資金調達を集中支援 7,629万円 (経観文)

★九州スタートアップコミュニティサミットの開催
九州全体のスタートアップの成長に向け、各地のスタートアップコミュニティが一堂に会するイベントを開催 600万円 (経観文)

☆グローバルに活躍できる創業の環境づくり
海外展開研修の実施や
国際イベントの開催・出展等を通じた支援 1億1,251万円 (総企)

憩いと潤いを感じられるまち

★植樹運動を展開
「都心の森1万本プロジェクト」 1億2,215万円 (住都)



・セントラルパーク構想の推進
高等裁判所跡地に駐車場・テニスコート整備等 17億4,194万円 (住都)

☆油山牧場・市民の森リニューアル 4億 232万円 (農水)



☆海づり公園を活用した北崎地区活性化
海づり公園リニューアルに向け料金所棟整備等に着手 3億7,961万円 (農水)

新たな価値を生み出すまち

FUKUOKA Smart EAST



★九大箱崎キャンパス跡地のまちづくり

先進的まちづくりの情報発信やモビリティ等の実証、20億1,461万円（住都）
土地区画整理事業等の都市基盤整備

★九大箱崎キャンパス跡地周辺の道路整備

誰もが安心して移動できる道路空間の形成に向けた 3億 850万円（道下）
無電柱化等の推進

Fukuoka Art Next



★アートのある暮らしの推進、「FaN Week」の開催

アートのある暮らしの推進や、 5,034万円（経観文）
まちなかをアートで彩るアートイベントを開催

★旧舞鶴中学校体育館を大型作品の制作・展示空間に改修、
「Artist Cafe Fukuoka」の運営

1億2,877万円（経観文）

★国内外からアーティストを招へいし創作活動を支援

2,442万円（経観文）

★福岡アートアワードによるアーティスト支援

今後さらなる飛躍が期待できるアーティストに贈賞 1,222万円（経観文）
するとともに、受賞者によるトークイベント等を実施

カーボンニュートラルの推進

2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、水素リー
ダー都市プロジェクトをはじめ、カーボンニュートラルを推進。

水素リーダー都市プロジェクト

★まちづくりへの水素実装

九大箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおける 1億5,586万円（経観文）
水素供給パイプラインの整備等

★水素で動く新たなFCモビリティの導入推進

給食配送車、パッカー車の導入、 1億1,654万円（経観文・環境・消防）
救急車の実証等

★建築物のZEB化、ZEH-M化の設計費用を支援

ビル・集合住宅の脱炭素化に向けた支援 5,500万円（環境）

★電気自動車等の購入や充電設備設置を支援

EV、FCV等の購入や急速充電設備、 7,625万円（環境）
集合住宅の普通充電設備の設置に対する支援

★市民等が利用できる急速充電設備を市有施設に設置

市内5か所に急速充電設備を設置 6,158万円（環境）

★プラスチックごみの分別収集に向けた取組み

戸別収集モデル事業と 5,840万円（環境）
リサイクル体制の構築を推進

市民とともに福岡の将来を描く

★新たな「福岡市基本計画」の策定に向けた検討

4,100万円（総企）

★「都市計画マスタープラン」「都市交通基本計画」

「緑の基本計画」改定に向けた取組み 1億2,741万円（住都）

子どもや若者をはじめ、市民等から幅広く意見を募集する
市民参加プロジェクトを実施するとともに、次期基本計画の
素案を検討。

主要事業


※令和4年度2月補正予算案については、(2月)と記載

★:新規 ☆:拡充

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

- ☆住民票の写し等のコンビニ交付手数料を減額
(R6年3月まで10円で発行) 1億1,243万円 (市民)
- ★税務証明のコンビニ交付サービスをR6年1月から導入
(R6年3月まで10円で発行) 7,307万円 (財政)
- ☆公共施設案内・予約システムの刷新
(キャッシュレス決済導入等) 1億4,248万円 (総企)

物価高騰対策

- ☆学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援
【再掲】 12億1,240万円 (こども・教委)
- ☆経営改善・事業再生に取り組む事業者の資金繰り支援等
(商工金融資金) 1,886億5,900万円 (経観文)
- ・中小企業に対する燃料費等高騰分の支援(R4年4～12月分)
燃料費等高騰の影響を受けた 26億 100万円(2月) (経観文)
中小企業等を支援(上限60万円)
- ・全市版プレミアム付き商品券(ネクスペイ)発行を支援
市内全域の登録店舗で利用可能な
ネクスペイの発行を支援 7億9,398万円(2月) (経観文)
(総額60億規模、プレミアム率20%)

- ・商店街のプレミアム付き商品券発行を支援
3億2,343万円(2月) (経観文)

農林水産業の振興

- ★地域資源を活用した肥料や飼料の利用取組みを支援
農畜産業における地域資源活用へのチャレンジを支援 787万円 (農水)
- ★輸出拡大のための国際認証(水産エコラベル)取得を支援
水産資源や生態系に配慮し生産された水産物の
認証取得にかかる費用を支援 320万円 (農水)

地場企業・商店街・働く人を応援するまち

- ★中小企業のオンラインによる海外展開を支援
オンラインを活用した海外販路拡大に取り組む
中小企業等を支援 771万円 (経観文)
- ★商店街の観光資源化や周辺の観光施設との連携を支援
【再掲】 2,204万円 (経観文)
- ★伝統産業に新たな価値を生む異業種・異分野連携
伝統産業活性化のため異分野・異業種等の技術を
取り入れた新しい製品開発等の支援 458万円 (経観文)
- ☆中小企業の生産性向上セミナーやIT導入スキル養成講座
経営トップ層対象の経営セミナーや
社員対象のIT導入スキル養成講座の実施 1,281万円 (経観文)

新型コロナウイルス感染症等への対応

- ・新型コロナウイルスワクチン接種 13億1,032万円 (保医)
- ・保険適用検査・入院医療の公費負担 9億5,160万円 (保医)

II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

令和3年6月に策定した「財政運営プラン」の取組みの方向性を踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、「歳入の積極的な確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることとし、令和5年度当初予算においては約48億円の財源を確保しました。

財源確保総額 48億円

(単位：億円)

歳入の積極的な確保

44

① 市税及び税外債権の確保

21

市税収入率の向上 [R4 98.29% → R5 98.61%]

12

宿泊税収入の増

8

など

② その他歳入の確保

23

ふるさと納税寄付の確保

13

未利用地等の売却・貸付

7

など

(単位：億円)

行政運営の効率化

1

油山市民の森等の一体運営による効率化等

0.4

など

その他役割分担、関与の見直し

3

消防ヘリコプター維持管理に伴う県補助金の確保

0.6

など

2 アセットマネジメントの推進

市民が市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「**福岡市アセットマネジメント基本方針**」に基づき、**財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設の状況等に応じた適切な維持管理を推進**します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

●アセットマネジメント事業費

(単位：億円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	差引増減		5年間増減	
						(令和5年度-令和4年度)	(%)	(令和5年度-令和元年度)	(%)
一般会計	543	600	633	652	720	68	(11%)	177	(33%)
全会計	1,026	1,099	1,184	1,203	1,234	31	(3%)	208	(20%)

※国予算関連の2月補正予算における前倒しを含む

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある

【主な取組み】(一般会計)

①施設の長寿命化・機能維持

施設を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や、施設の性能を継続的に維持するために行う修繕等

・学校の校舎等の大規模改造【35億5,904万円※】(教委)

老朽化した校舎の大規模改造等(19校)

・市営住宅の長寿命化【24億4,707万円】(住都)

市営住宅ストック総合活用計画に基づく住宅の外壁や屋上防水の改修

・区役所庁舎改修【13億4,286万円】(市民)

区役所庁舎の空調設備工事等

・スポーツ施設改修【13億1,021万円】(市民)

スポーツ施設改修事業

・河川施設の護岸工事等【9億2,018万円】(道下)

河川施設の護岸や排水機場の改修等

・道路大規模修繕【6億9,603万円】(道下)

道路アセットマネジメント基本方針に基づいて道路の健全性を保つための修繕等

・橋梁の長寿命化【6億1,160万円※】(道下)

橋梁長寿命化修繕計画に基づいて橋梁の健全性を保つための修繕等

②施設の機能充実・向上

耐震改修やバリアフリー化など、社会情勢や市民ニーズに応じた機能充実及び安全性向上のために行う改修等

・学校の校舎及び附帯施設等整備【83億1,723万円※】(教委)

学校の便所改造(洋式化)及び外柵改良等

・市営住宅の改善【7億5,620万円】(住都)

ユニバーサルデザインの推進やエレベーターの改修等

・油山市民の森等リニューアル事業【4億232万円】(農水)

油山市民の森及び油山牧場のインフラ施設整備、既存施設の改修等

③施設の建替・更新

施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な建替・更新

・市営住宅の建替【85億2,949万円】(住都)

老朽化した市営住宅の建替(下山門住宅建設着手など)

・放課後児童クラブ施設増改築【5億9,705万円】(教委)

放課後児童クラブ施設の増改築(6校)

・公民館改築【4億8,640万円】(市民)

100坪館から150坪館への建替等

・公園再整備【15億7,261万円】(住都)

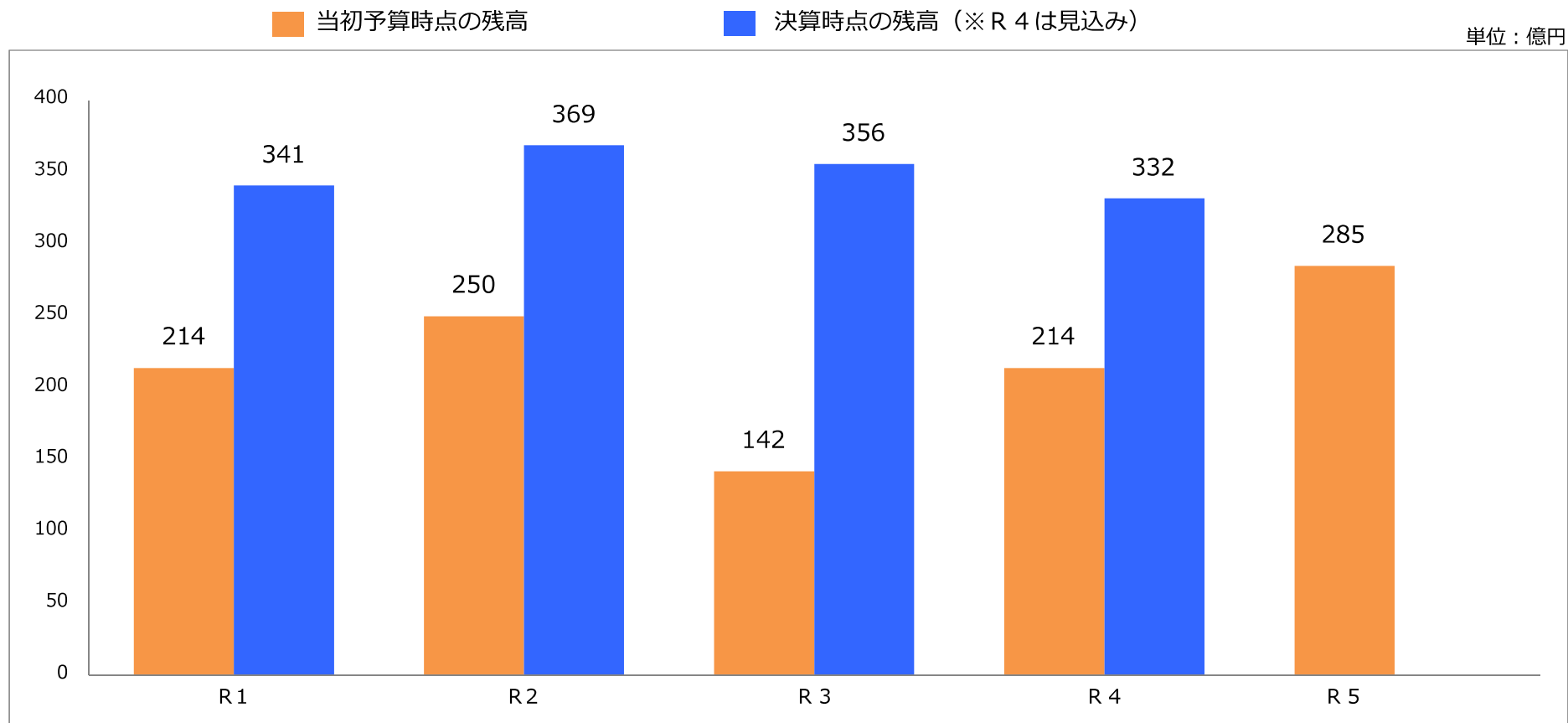
老朽度調査等を行い策定した公園再整備計画に基づく公園の整備(25公園)

※令和5年2月補正予算における前倒しを含む

3 財政調整基金の活用と残高の確保

- ・ 社会情勢の変化や新たな課題への対応、福岡市総合計画に沿った施策の推進のための財源を確保するため、令和5年度当初予算においても財政調整基金を積極的に活用します。
〔当初予算編成時の取り崩し額 R5：50億円、R4：73億円、R3：101億円、R2：55億円、R元：56億円〕
- ・ 一方で、今後、大規模災害等が発生した場合に、迅速に対応できるよう、5年度末見込において285億円の残高を確保しています。

<財政調整基金の残高の推移>



4 市債残高の状況

(1) 市債発行額の見込み

① 市債発行額（一般会計）

- ・ 臨時財政対策債の減（▲70億円）に伴い、市債発行額は減少（▲35億円）
- ・ アセット経費の増加により、通常債は増加（+35億円）

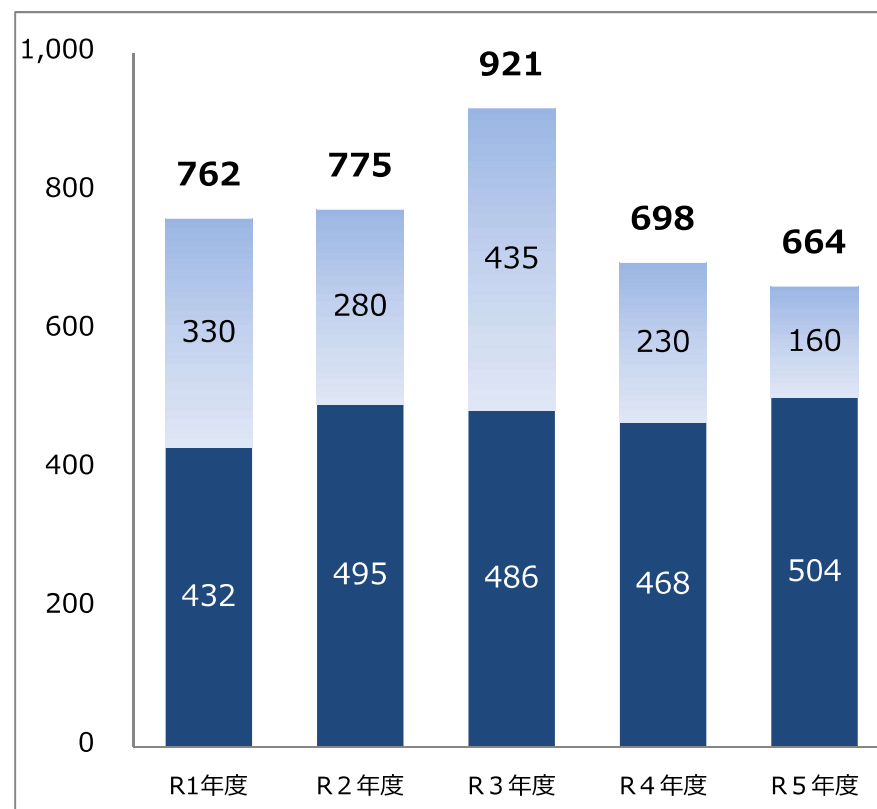
	令和4年度	令和5年度	増減額
市債発行額	698億円	664億円	▲ 35 億円
うち通常債	468億円	504億円	35 億円
うち臨時財政対策債	230億円	160億円	▲ 70 億円

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）

■ その他の市債 ■ 臨時財政対策債
(単位：億円)



(2) 市債残高の縮減

① 令和5年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計は令和4年度末と比べ縮減 (▲211億円)
- ・ 全会計でも令和4年度末と比べ縮減 (▲452億円)
- ・ 全会計でピーク時より7,008億円縮減 (▲27.1%)

(単位：億円)

	H16年度 年度末残高	R4年度	R5年度			差引き (B) - (A)
		年度末残高 (A)	新規発行	市債償還	年度末残高 (B)	
一般会計	12,928	11,542	664	▲ 874	11,332	▲ 211
全会計	25,882	19,325	988	▲ 1,439	18,874	▲ 452

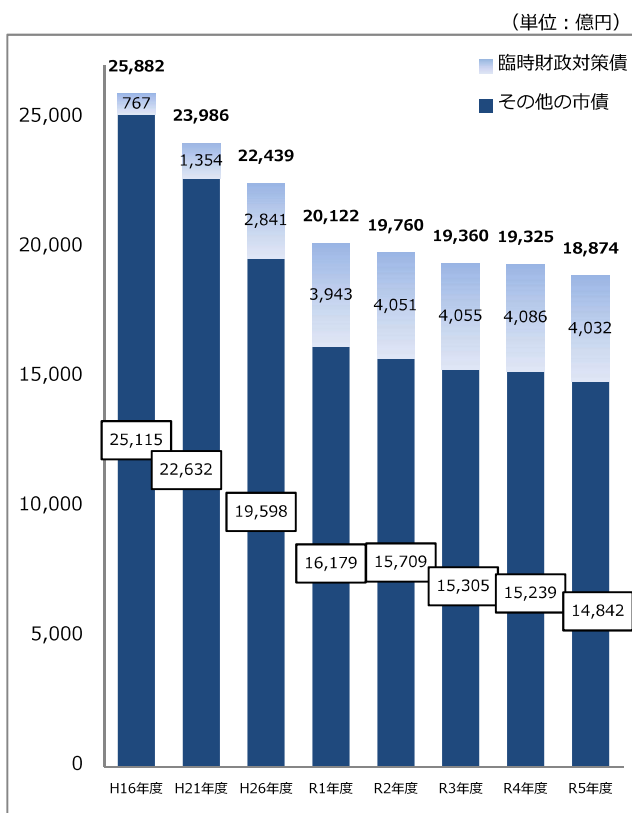
※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

※満期一括積立金（満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を含まない

②市債残高の推移

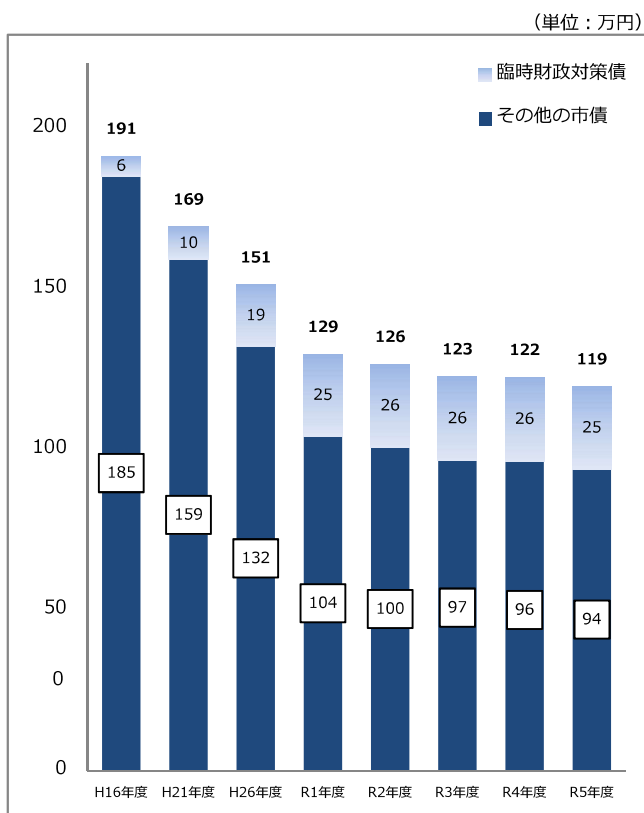
令和5年度末の全会計市債残高見込額から、国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、ピーク時の平成16年度末から1兆273億円減少し、1兆4,842億円となります。また、その市民一人当たり市債残高見込額は、平成16年度末から約91万円減少し、残高ピーク時の半分となります。（約94万円）

市債残高の推移（全会計）



※令和3年度までは決算ベース、令和4年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、令和5年度は当初予算ベース
 ※満期一括積立金を除く

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）



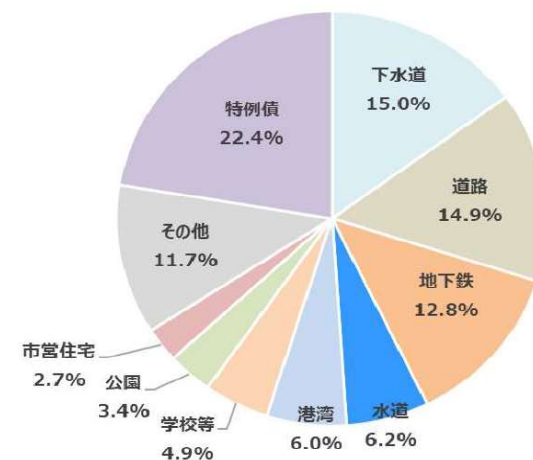
※令和3年度までは決算ベース、令和4年度は2月補正後(繰越明許費を反映していない)、令和5年度は当初予算ベース
 ※令和3年度までは各年度末現在、令和4年度、5年度は令和4年12月末現在の登録人口
 ※満期一括積立金を除く

令和5年度末残高の見込み

- 一般会計
約 1兆1,332億円 (▲ 211億円)
- 特別会計
約 1,311億円 (▲ 38億円)
- 企業会計
約 6,231億円 (▲ 203億円)
- ◇ 全会計
約 1兆8,874億円 (▲ 452億円)

※ () は令和4年度末残高見込みとの差
 ※ 満期一括積立金を含まない

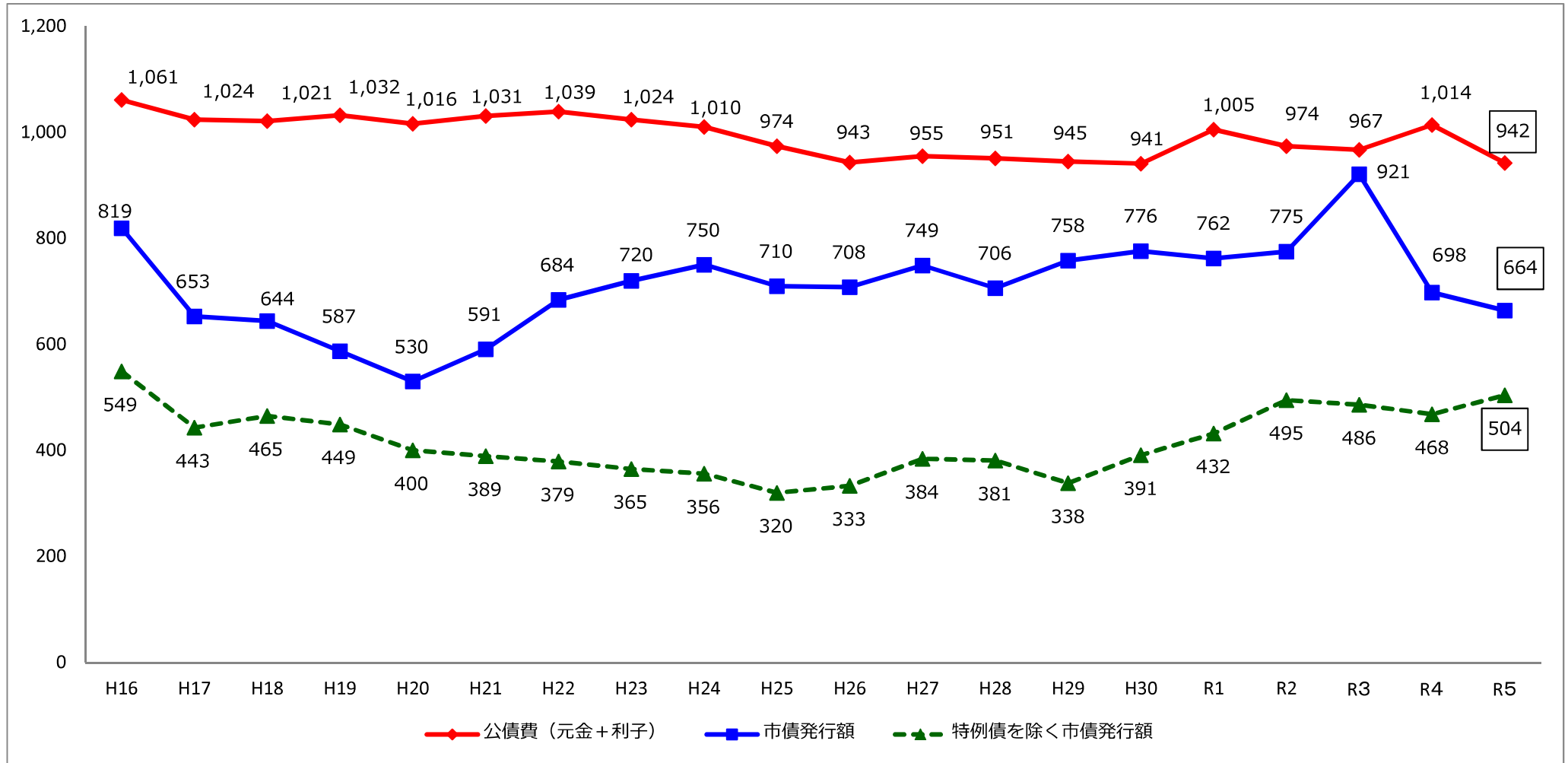
令和5年度末事業別残高



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

(単位：億円)



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行された市債（臨時財政対策債，減税補てん債（～H18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・ 一般会計は、第2子以降の保育料無償化などによるこども育成費の増や、教育環境の充実などによる教育費の増、世界水泳選手権福岡大会の開催に伴い、前年度を上回る +0.8%
- ・ 全会計合計は、前年度並み ▲0.1%

※以下、詳細は別添資料「令和5年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
一般会計	1兆410億円	1兆498億円	87 億円	0.8%
特別会計	7,155億円	7,007億円	▲ 148 億円	▲ 2.1%
企業会計	3,291億円	3,340億円	48 億円	1.5%
合 計	2兆857億円	2兆844億円	▲ 12 億円	▲ 0.1%

2 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況 (概要)

項目	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
市税	3,455億円	3,656億円	200 億円	5.8%
個人市民税	1,332億円	1,400億円	68 億円	5.1%
法人市民税	348億円	368億円	19 億円	5.6%
固定資産税	1,282億円	1,361億円	80 億円	6.2%
地方譲与税	67億円	67億円	▲ 1 億円	▲ 1.0%
交付金	528億円	552億円	24 億円	4.6%
法人事業税交付金	58億円	48億円	▲ 10 億円	▲ 17.2%
地方消費税交付金	395億円	429億円	34 億円	8.6%
地方特例交付金	18億円	19億円	1 億円	5.4%
地方交付税等	615億円	525億円	▲ 90 億円	▲ 14.6%
地方交付税	385億円	365億円	▲ 20 億円	▲ 5.2%
臨時財政対策債	230億円	160億円	▲ 70 億円	▲ 30.4%
その他	165億円	176億円	11 億円	6.6%
合計	4,849億円	4,995億円	146 億円	3.0%

※ 平成26年度及び令和元年度の消費税率引き上げによる増収分<224億円>は社会保障関係費<3,087億円>に充当

(1) 一般財源の状況 (ポイント)

<総 額> 4,995億円 (+146億円)

<市 税> 3,656億円 (+200億円)

- ・ 個人市民税は納税義務者数の増加等により、+68億円 (+5.1%)
- ・ 法人市民税は企業収益の改善等により、+19億円 (+5.6%)
- ・ 固定資産税は新增築家屋の影響等により、+80億円 (+6.2%)

<地方消費税交付金> 429億円 (+34億円)

- ・ 地方消費税交付金は地方消費税収入額の増により、+34億円 (+8.6%)

<地方交付税等> 525億円 (▲90億円)

- ・ 市税収入の増加等に伴い、地方交付税等は減少
(地方交付税▲20億円、臨時財政対策債▲70億円)

(2) 性質別歳出の状況 (概要)

項目	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
人件費	1,505億円	1,491億円	▲ 15 億円	▲ 1.0%
扶助費	2,435億円	2,508億円	73 億円	3.0%
公債費	1,014億円	942億円	▲ 72 億円	▲ 7.1%
義務的経費 計	4,955億円	4,941億円	▲ 13 億円	▲ 0.3%
物件費	1,180億円	1,172億円	▲ 8 億円	▲ 0.7%
補助費等	578億円	607億円	29 億円	5.0%
普通建設事業費	842億円	932億円	90 億円	10.7%
補助事業費	365億円	397億円	32 億円	8.7%
単独事業費	477億円	535億円	58 億円	12.2%
維持補修費	111億円	131億円	20 億円	18.3%
貸付金	2,027億円	1,966億円	▲ 61 億円	▲ 3.0%
繰出金	632億円	648億円	16 億円	2.5%
その他	86億円	101億円	15 億円	17.8%
合 計	1兆410億円	1兆498億円	87 億円	0.8%

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

義務的経費 4,941億円（▲13億円）

＜人件費＞ 1,491億円（▲15億円）

定年延長による退職手当の減（▲58億円）、教職員給与（+29億円）

＜扶助費＞ 2,508億円（+73億円）

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+19億円）、障がい児施設給付費等（+11億円）、障がい福祉サービス（在宅・施設・グループホーム等）（+35億円）

＜公債費＞ 942億円（▲72億円）

元金の減（▲63億円）

その他

＜補助費等＞ 607億円（+29億円）

世界水泳選手権福岡大会の開催（+57億円）、高速鉄道事業（地下鉄）補助金（▲14億円）

＜普通建設事業費＞ 932億円（+90億円）

アイランドシティ地区新設小学校整備（+37億円）、公営住宅整備（+20億円）、河川整備（+20億円）

＜貸付金＞ 1,966億円（▲61億円）

商工金融資金預託金（▲62億円）

(3) 目的別歳出の状況 (概要)

項目	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
総務費	594億円	715億円	121億円	20.4%
こども育成費	1,304億円	1,342億円	38億円	2.9%
保健福祉費	2,378億円	2,335億円	▲42億円	▲1.8%
環境費	309億円	337億円	28億円	9.1%
経済観光文化費	2,155億円	2,091億円	▲64億円	▲3.0%
土木費	412億円	451億円	39億円	9.5%
都市計画費	495億円	477億円	▲18億円	▲3.6%
港湾空港費	79億円	99億円	20億円	24.7%
消防費	164億円	172億円	8億円	5.0%
教育費	1,359億円	1,390億円	31億円	2.3%
公債費	1,020億円	948億円	▲72億円	▲7.0%
その他	140億円	139億円	▲1億円	▲0.6%
合計	1兆410億円	1兆498億円	87億円	0.8%

(3) 目的別歳出の状況（主な増減）

<総務費> 715億円（+121億円）

世界水泳選手権福岡大会の開催（+66億円）、庁舎管理営繕（+16億円）、
区役所庁舎整備（+22億円）

<こども育成費> 1,342億円（+38億円）

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+11億円）、おむつと安心定期便（+12億円）、
障がい児施設給付費等（+11億円）、出産・子育て応援給付金（+7億円）、
保育所等への給食費物価高騰分の支援（+5億円）

<保健福祉費> 2,335億円（▲42億円）

新型コロナウイルス感染症対策【ワクチン接種（▲57億円） 検査・医療提供体制充実等（▲35億円）】、
障がい福祉サービス（在宅・施設・グループホーム等）（+35億円）、
医療・介護関連の繰出金・負担金（+12億円）

<経済観光文化費> 2,091億円（▲64億円）

商工金融資金預託金（▲62億円）、金融対策（▲9億円）

<教育費> 1,390億円（+31億円）

アイランドシティ地区新設小学校整備（+37億円）、教職員給与（定数の増等）（+29億円）、
給食費の物価高騰分の支援（+7億円）、特別教室空調整備（▲24億円）

3 特別会計の状況（概要）

項目	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
後期高齢者医療	207億円	222億円	16億円	7.6%
国民健康保険事業	1,401億円	1,421億円	20億円	1.4%
介護保険事業	1,174億円	1,200億円	26億円	2.2%
中央卸売市場	72億円	59億円	▲13億円	▲18.1%
港湾整備事業	348億円	148億円	▲200億円	▲57.5%
香椎駅周辺 土地区画整理事業	9億円	19億円	10億円	103.0%
貝塚駅周辺 土地区画整理事業	5億円	13億円	8億円	170.6%
市債管理	3,897億円	3,881億円	▲15億円	▲0.4%
その他	42億円	43億円	1億円	3.0%
合計	7,155億円	7,007億円	▲148億円	▲2.1%

3 特別会計の状況（主な増減）

<後期高齢者医療> 222億円（+16億円）	広域連合納付金（+16億円）
<国民健康保険事業> 1,421億円（+20億円）	保険事業費納付金（+19億円）
<介護保険事業> 1,200億円（+26億円）	保険給付費（+23億円）、地域支援事業費（+2億円）
<中央卸売市場> 59億円（▲13億円）	鮮魚市場の機能更新（▲16億円）、施設維持（鮮魚+3億円、食肉+2億円）
<港湾整備事業> 148億円（▲200億円）	基金積立金（▲176億円）、公債費元金（▲44億円）
<市債管理> 3,881億円（▲15億円）	借換債の増（+132億円）、元金償還の減（▲111億円）

4 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（+55億円）、建設改良費（+7億円）

<下水道事業> 企業債償還金（+20億円）、建設改良費（+15億円）、営業収益（+6億円）

<水道事業> 営業収益（+9億円）、建設改良費（▲7億円）

<高速鉄道事業> 建設改良費（▲87億円）、企業債償還金（▲21億円）、運輸収益（+45億円）

項目	令和4年度	令和5年度	増減額	伸率
モーターボート競走事業	831億円	891億円	60億円	7.3%
下水道事業	1,124億円	1,170億円	46億円	4.1%
水道事業	672億円	674億円	2億円	0.3%
工業用水道事業	10億円	9億円	▲1億円	▲6.3%
高速鉄道事業	655億円	595億円	▲60億円	▲9.1%
合計	3,291億円	3,340億円	48億円	1.5%

